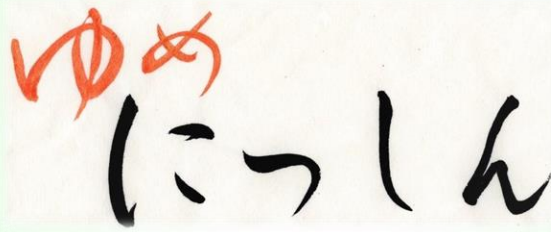


日新

苟日新 まこと ひ あら 苟に日に新たに
 日日新 ひ び あら 日々に新たに
 又日新 また ひ あら 又日に新たなり
 出典 「大学」

日新地区だより 71号



「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：まちづくり日新 広報部会
 福井市文京5丁目1-8 日新公民館
 発行日：令和6年（2024年）9月17日

今年の夏は熱中症警戒アラート続出

今年の7・8月が何故こんなにも暑いのか？

気象庁によると「偏西風の蛇行と熱帯太平洋の高い海水温が原因です」とのことです。日本の上空では「偏西風」が西から東に吹いています。これが蛇行して、例年より北側を吹くようになってしまいました。それによっていつもの偏西風の場所に、太平洋南の海水の温かい空気が北に上がり、この空気が日本周辺まで入り込んでしまいました。すなわち日本は従来の温暖ではなく熱帯地方に近づいたということです。

それでは何故海水温度が上がったのか？

それは長期的な地球温暖化の影響や、「太平洋10年規模変動」（約10年単位で海水温などが変動する現象の影響）などもあるようです。それにより4月～10月の間で熱中症警戒アラートが、2021年は613回、2022年は889回、2023年は1232回の発令でした。今年は8月1日現在で昨年と比べて1.8倍であります。

そして今年の7月22日は世界平均気温が観測史上（1940年開始以来）最高の17.15℃をマークしました。本当に暑い日が続いていますね。

英レディング大の気候学者、アクシャイ・デオラス氏は「温室効果ガスの排出を急速に削減することによって温暖化を抑制しない限り、気象記録は今後も頻繁に更新されるだろう」と話しています。



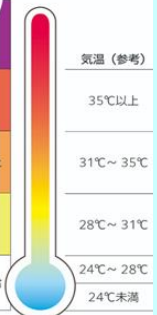
気象庁から「熱中症警戒アラート」とか「嚴重警戒」警戒情報が発表されますが、どのようなことなのか？

暑さ指数（WBGT）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射（ふくしゃ）などの周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

暑さ指数（WBGT）の算出式は屋外と屋内の2通りで
 屋外での算出式=0.7×湿球温度+0.2×黒球温度+0.1×乾球温度
 屋内での算出式=0.7×湿球温度+0.3×黒球温度

- 黒球温度とは、黒色に塗装された薄い銅板の球の中心に温度計を入れて観測するものです
- 湿球温度とは、水で湿らせたガーゼを温度計の球部に巻いて観測するものです
- 乾球温度とは、通常の温度計を用いた気温の観測です

暑さ指数 (WBGT)	日常生活における注意	運動指針
熱中症特別警戒アラート 35以上	県内観測地の全てで、暑さ指数が35を超える場合に発表される。	熱中症予防行動の徹底をお願いします。
熱中症警戒アラート 33以上	県内観測地のどこかで、暑さ指数が33を超える場合に発表される。	
31以上 危険	高齢者は安静状態でも発症する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止
28以上 31未満 嚴重警戒	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意。	激しい運動は中止
25以上 28未満 警戒	運動や激しい作業をする時は、定期的に十分な休息を。	積極的に休憩
注意 (25未満) ほぼ安全	積極的に水分補給	積極的に水分補給



忘れていませんかコロナ感染症 健康に注意を！

この夏の猛暑で、発熱、倦怠感、頭痛、意識が朦朧とするなど熱中症の疑いで救急搬送される人が多いようです。熱中症とコロナ感染の症状が同じようなので区別がつきにくく、実際にはコロナ感染なのに、軽い熱中症と判断をしてしまい周囲に広まってしまうことも多いようです。まずは熱中症の予防策をしっかりと取り、体調の変化からいち早くコロナ感染を疑えるよう備えることが大切です。コロナ検査キットを用意しておくのも必要かもしれません。



熱い熱い 8月3日の午後にミソハギ花まついを開催

第8回ミソハギ花まつりは開始時間の午後3時ごろの気温は36.4℃、湿度60%弱、北風5m/秒と熱中症警戒アラートが発令されている中、当初の計画を大幅に縮小し本部のテントは2張り（テント中に氷柱設置）、ミソハギ鑑賞ウォークのコースも半分に、かき氷の無料提供と万全な熱中症対策が行われました。約130名の参加者は満足し、まつりを企画・運営したスタッフは安堵の中で無事に終了しました。



主役の底喰川とミソハギの花



風になびく幟旗



準備は安全第一に



準備万端待ってるよ♥



日陰で休んでクイズに挑戦



難しいなあ〜



全問正解!!



テントの中も暑い〜です



大盛況!



わらび餅如何ですか?



公民館の中は涼しい休憩室



飛入り参加のキッチンカー「ありがとう♥」



売り上げは? 「ポチポチですわ」



やっと終わった



「…皆さんお疲れ様でした…」

来年からのミソハギ花まついどうする???

今年のミソハギ花まつりは事故もなく無事に終了したことは大変良かったと思います。しかし、今後は年を追うごとに気温が上昇すると予想されています。終了後にまちづくり事務局長さんと雑談をしながら、来年度の計画案を考えてみました。

- ① ・ミソハギ花まつりの開催時期（暑さが和らげる頃）
- ② ・開催開始時間を夕方にする（盆踊りも加えて、夜店も）
- ③ ・開催場所を屋内にする（ミソハギの様子をあらかじめ撮った映像とライブ映像）等かと思っています。

ただ、どの案も今まで通りの内容では対応できません。①は2週間後にするとお盆と重なり、スタッフが集まるかどうか? ②はミソハギの花にライトアップ、マンションの工事は、夜店への依頼などが必要です。きっと盛り上がると思いますが、資金の面は? ③は映像設備? ……難しいですね。誰か良い知恵をお願いします。



川上秀太選手

パリパラ陸上男子 100メートルで銅メダルを獲得



川上秀太さん（25才）がパリパラリンピック陸上男子 100m（視覚障害 T13）で見事銅メダルを獲得しました。おめでとうございます。

レース後川上さんは「ずっと金をと、自分に言い聞かせて来たので悔しい！、目標は健常者との日本選手権への出場への切符で 10 秒 34 をだすこと」と言っておられます。

8 月末に福井市役所を訪れると、ロビーに福井県からパリパラリンピックに出場する川上選手と伊藤選手の大きなパネルが展示されていました。そのパネルを上里地区の菅原瑞代さんが見っていました。「川上さんは大宮 5 丁目の人で日新小学校にも横断幕がありますよ。詳しい事はアオッサのスポーツ課で聞いてください」と教えていただきました。



早速アオッサに出向きスポーツ課の島崎仁美さんから川上さんのことをお聞きしたところ「彼は小学校 3 年生の時に交通事故に遭い視神経を損傷、その後強度の弱視となり、陸上競技は大学（福井工大）卒業までは健常者の大会での出場、社会人になってからパラへ転向されました。そして今年の 5 月 20 日の神戸で開催された世界パラ陸上 100 メートル（視覚障害 T13）で見事 2 位になり、パリ五輪出場の切符を手に入れました。視覚障がいのクラスは視力や視野の広さによって 3 つ(11~13)に分かれ、T13 は最も障がいの程度が軽い「軽度弱視」の選手を意味します。病気や事故などを原因とした見えにくさはあるが、伴走者などは伴わず、単独で競技を行うクラスです。数字の前の T はトラック競技を意味します。現在（株）アスピカ所属です」と教えていただきました。

今年は自然災害頻発今後？

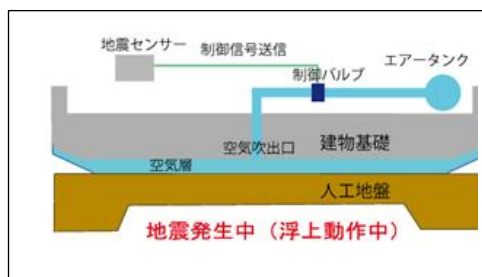
気象庁から、8 月 8 日 16 時 43 分に日向灘を震源とするマグニチュード 7.1 の地震が発生したことをうけて、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を臨時に開催し、気象庁は南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」を発表しました。その後 8 月 15 日 17 時をもって、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」発表に伴う政府としての特別な注意の呼びかけは終了しました。しかし、大規模地震の発生の可能性がなくなったわけではないことから、「日頃からの地震への備え」については、引き続き実施してくださいと発表されました

ところで、今後地震予測は不可能か？ 今はスーパーコンピューターに多量のデータを取り入れ次に何が起きるかを AI により予測することで、地震の発生予測に近づいたようです。その例として堀高峰氏（海洋開発機構）が 2011 年の 3 月 11 日の東日本地震を 2 日前の 3 月 9 日に三陸沖に深さ 8 km で M7.3 の地震が発生していたことから、この時長年のスロースリップ（断層がゆっくりとすべる現象）の作用で巨大なスリップを予測されたとのこと。しかし、この地震は海溝における地殻変動であります。海でのデータ集めはウエーブライダーで集めているようです。

福井（北陸地方）は？ 今年 1 月に福井高専の岡本教授が「福井県の真下には地震のエネルギーとなるひずみが集中している新潟－神戸ひずみ集中帯があり、2020 年 9 月に震度 5 弱を観測した地震が起こっており、気が抜けない状態だ。しかし、3 月の北陸新幹線敦賀迄の延伸で、福井では高速列車走行の影響で高感度地震観測がしづらくなっており、震度計がおかれただけの状況である。ただ、今後の余震の状況の観測で断層の動きの解析で、つぎに新潟側か福井側かで大きな地震が起こりうる予測につながる。」とされています。

地震が終わったと思えば、間髪をいれずに「のろのろ台風 10 号」が日本列島に 8 月末から約 2 週間停滞し大雨をもたらしました。乱れるインフラや倒壊する家屋などで、人が生活できない状態が長引きました。

そこで、最新？の家屋の工法で地震や浸水を防ぐ一例を少し紹介します。



地球が変わってきている。今年の夏も雨無しの猛暑日が続き、昔人間には大変きつい。地球が「コロナだ、熱中症だと、今までの考えを変えよ！」と、我々人間に警告し、実証しているように思える。予告の始まりは正月の能登地震、国内外のあちらこちらで山火事や豪雨が絶えず起こり、ウクライナ戦争、パリ五輪、高校野球など暑さを逃れられない日々が続いた。人間だけではなく動植物も同じように地球と戦っているのが見られた。

其一、雑草の成長は例年の2倍近く伸びていた。

其二、殺虫剤を使わなくなり、イナゴやカメムシが多量発生で、米・野菜に害を与えた。

更に雨降らずなどで成長不良と野菜類は値上がりに至った

其三、樹木では、チャドクガ・イラガ・アメリカシロヒトリによって葉や実が食べられ落葉落果生態を変える。

其の四、イノシシ、ハクビシン、クマ被害のニュースも多く出た。底喰川の水性植物も旺盛で水流ダウンをさせている。台風は未だ来ていないが増水危険には要注意だ。これから戦う相手は地球か、自己に対する考え方か……



日新地区の住民の皆さん、お変わりなくお元気ですか？猛暑が続く中、健康には十分に気を付けてください。昨今の対外的情勢、社会環境等々も著しく目まぐるしく変化を期し、その状況と経過は4年数ヶ月前から続いた新型コロナウイルス感染症が収束したかと思えば、南海トラフ巨大地震の注意報が発令された。又物価高に米騒動、温暖化に依る異常気象等々、非常に色々な厳しい状況の変化に対し、私達の毎日の生活そのものも不自由で苦しく、その事に依るストレスが大きく高まる日常ではないでしょうか。



さて、私達のコミュニティーバス運行事業も2020年3月の新型コロナウイルスの発症以来、バスの乗車実績はこの数ヶ月は最低数値80名前後を底辺として最悪の状況が継続され『コミュニティーバスの運行停止か!!事業撤収か!!』と心配な状況で、最悪の状況に至った。しかし日新のシンボルとしてのさんさんバス運行の事業に対しては、バス愛好者はもとより、各組織のサポーター、役所等の協力とその後押しにより昨年(令和5年)の4月より一部修正し新ルート企画路線の検討会議を数回重ね、その実施に踏み切った。その結果、乗車実績も200名→300名→400名と着実に右肩上がりとなりコロナ発症以来、4年と5ヶ月ぶりに役所指示の基準値(504名)を7月度100%の達成をみる事が出来た(感謝・感謝……)令和7年9月の第3次本格運行査定を目指して残り少ない期間であります但まちづくり交通部会全員一丸となって努力を重ねます。今後とも宜しくお願い致します。



今、4つの政策において県や市に独自の決断を求められている気がします。福井県ならばまず原発問題です。敦賀原発2号機の再稼働が認められませんでした。問題は真下にある断層です。前頁にも書いた南海トラフ地震との関係も指摘されているようです。このままの原発依存でいいのでしょうか？

次に敦賀から新大阪への新幹線延伸です。少し考えると、京都駅に繋ぐことになれば京都中心部の地下にある歴史的な遺産が出た時、無視するのでしょうか？掘っては調べてを繰り返す、工期は延び延びになる可能性が……

3つ目は、福井東公園に建設予定のアリーナの建設財源とその後の運営費の大半が税金(国、県、市)を当てにしている計画です。今年に入ってからの県議会、市議会でも問題にされています。

最後に、巨大地震が発生した時の災害時での対処問題です。住民の避難場所を単に従来と同じではなく、詳細なデータに基づき、地域ごとに計画すべきかと思えます。(豪雨の時橋を渡って避難?)国からの指示だけでなく、住民の意見に耳を傾けて独自の計画案を提案すべき時だと思えます。

